

令和6年度 主な教育活動

1. 令和6年度始業式、入学式、後援会入会式

4月6日（土）、しずぎんホール「ユーフォニア」にて挙行。新入学生、新入学生保護者、在校生が一堂に会して入学式を行うことができた。また入学式後には学生保護者の組織である後援会の入会式を実施した。

2. 新入学生対象基調講演

4月8日（月）、新入学生に向けて、各界から講師をお招きし、基調講演をいただいた。専門学校における、専門職を目指す学びの重要性を説き、また本学の教育理念「挨拶を基調とした全人教育」の重要性をお話下さった。新入学生たちは職業のイメージ、これからの学びの目的が明確になり、御殿場宿泊研修でのアクティブラーニングに結び付けることができた。

<講師>

専門学校静岡電子情報カレッジ 学校関係者評価委員

株式会社コサウェル及び株式会社システムソフィア 取締役 五十嵐 卓氏

3. 新入学生 御殿場宿泊研修

4月5日（金）より開始した学内での新入学生オリエンテーションを経て、4月11日（木）～13日（土）、御殿場市にある国立中央青少年交流の家で2泊3日の宿泊研修に臨んだ。体調不良等は皆無で、一人も欠けることなく、全員揃って全ての日程をこなすことができた。

箱根でのオリエンテーリング、研修所でのアクティブラーニング（職業のイメージを明確にし、よりよい就職を具現化するためのグループワーク）とその成果発表、礼法、レクリエーション活動等、寝食を共にしながら濃密なスケジュールで活動でき、友情を深めながら、今後の専門学校における学びの目標・目的を明確にすることができた。

4. 学生会主催 スポーツ大会

（1）春季スポーツ大会 5月8日（水）

安倍川河川敷 男子、女子ともドッジボール

終了後、河川敷清掃

（2）秋季スポーツ大会 11月20日（水）

このはなアリーナ 男子・女子ともバスケットボール

学生会の企画・運営によるスポーツ大会を行い、スポーツを通じて学校・学科の枠を越えて交流、友情を深めることができた。

5. 卒業生を囲む会

IT ゲーム＆ロボットシステム学科、音響＆映像メディアクリエイイト学科

5月16日（木）

進路指導の一環として、最も身近なプロフェッショナルである卒業生を招き、「職業観」の向上及び「就職意識」の高揚を図るために実施。また終了後には教員と卒業生との間でも情報交換を行い、各分野のニーズ、卒業生が今抱える問題点、母校への提言などを得て、カリキュラム、授業、実習・演習、就職指導に今後反映していく。

6. 令和6年度 我道祭（学園祭・文化祭）

文化祭・学園祭 2月28日（金）、3月1日（土）、3月2日（日）

<企業対象卒業研究・ゼミナール成果発表会>

○発表テーマと学生メンバー

- ① 現実の世界を飛び回る 3D アクションゲーム「QBANNINJA」の制作

IT ゲーム＆ロボットシステム学科1年 出井 陸斗

- ② 学生企画 LIVE「ShamRock」

音響＆映像メディアクリエイイト学科2年

佐野 真琴、高部 乃愛、中川 瑠菜、堀池 結愛、松山 紗己、宮部 夏帆

- ③ VRChat で電子情報カレッジをつくる（再現する）

IT ゲーム＆ロボットシステム学科2年

池谷 康希、小林 悠翔、松永 勝樹、早川 大地

- ④ 静岡県警と連携した「いかのおすし」標語ダンス動画制作

音響＆映像メディアクリエイイト学科2年

伊藤 晴輝、河西 拓海、杉浦 健、鈴木 聖将

7. 産学官連携教育プログラム・フィールドスタディ

今年度、学校生活・フィールドスタディにおける活動においてリーダーシップを発揮して成果を挙げ、CAN スカラシップ制度に相応しいと判定を受けた学生15名が N-Cap(B)として認定を受けた。

<活動概要>

・両校のスカラシップ学生同士で意見交換会、活動計画会議を実施。企画に携わるだけでなく、活動に積極的に参加。他の学生も巻き込み、両校の活性化に貢献した。

<活動内容>

・鈴音祭 4月14日（日） 駿府城公園紅葉山庭園前広場 【STAGE 鈴音】

駿府城公園紅葉山庭園前広場で実施された音楽 LIVE の前日準備日（機材搬入・設営）と当日のイベント手伝いのボランティアに参加し、一緒にイベントを盛り上げた。

- ・ music fam 吉田町 5月26日(日) 小山城売店前芝生広場

子連れで楽しめる音楽イベントの開催の設営・ステージ周りのサポートに参加。

- ・ ま・あ・る お仕事体験フェスタ 6月22日(土)

静岡県職業教育振興会主催による標記イベントで、小学生向けに公開講座を実施。「システムエンジニア・プログラマーのお仕事」について、学生が主体的に企画・準備・当日の運営を行った。ま・あ・るのスタッフ、参加した子どもたちから大好評を得ることができた。

- ・ IoT 企業での研修 7月5日(金)

株式会社システムソフィアにて、IoT 設計開発現場で、卒業生社員から手ほどきを受けた。日頃学ぶ技術がどのように具現化されるかを知る絶好の機会となった。

- ・ 静岡市との連携による研修参加 8月1日(木)

静岡市役所都市局都市計画部景観まちづくり課に IT 系学生が訪問させて頂き、静岡市が取り組む市街地点群オープンデータの活用法について学び、市との連携活動について情報交換を行った。

- ・ 森下ときめき収穫祭 11月24日(日)

森下学区自治会連合会、久能街道・森下まちみがき研究会主催による町おこし・地域イベント「森下ときめき収穫祭」に学生が出店させて頂いた。ロボット電子工作体験、市からの委嘱で開発したゲーム体験のコーナーを用意して、来場者に楽しんでもらった。

- ・ 未来発見！お仕事体験フェア in マークイズ静岡 12月7日(土)・8日(日)

「IT・ロボットエンジニアのお仕事ーミニミニロボットを組み立てよう！ー」、「視能訓練士のお仕事ーいろいろな眼科検査をしてみよう！ー」の2ブースで、小学生を中心に多くの方にお仕事体験をしていただくことができた。

- ・ 森下小学校放課後児童クラブ 『子どもの心に残る思い出作り』

電子・福祉コラボ活動 12月26日(木)

8月19日の事前ボランティアに続いて、12月の活動に向けて、準備を進めた。当日は子ども心理学科の学生が進行し、音響&映像メディアクリエイト学科の学生がBGMや効果音を担当。子ども達の笑顔がたくさん見られ、学生の喜びにもつながった。

- ・ 文部科学省委託事業 実証講座 令和7年2月12日(水)

本学が参画している「センシングやAI等を活用した災害対応を中心とした安全安心インフラのDX化を推進していく人材を育成する教育プログラム開発」を行う文部科学省委託事業の実証講座として、ドローンの防災・減災への活用をテーマに研修を受けた。IT活用の応用として視野を広められ、また、実際にドローンの操縦も体験することができた。

- ・ 第一ひかり幼稚園 ICTキッズ 令和7年2月25日(火)

ITゲーム&ロボットシステム学科1年生4名が、姉妹校である第一ひかり幼稚園の年長組の子どもたちに、パソコンによるプログラミングの初歩体験をサポートし、子ども達が夢中になって取り組むことができた。

- ・ エコキャップ活動、フードドライブ

N-Cap生が中心となって行う活動として3年目。毎回多くの学生、教職員から協力を得て、地域貢献活動につながっている。

8. 資格検定試験の実施・特別授業等

(1) 映像音響処理技術者資格認定試験

(一社) 日本ポストプロダクション協会主催 6月2日(日)

(2) 情報活用検定 (J 検), ビジネス能力検定 (B 検) CBT

(一財) 職業教育・キャリア教育財団主催

5月23日(木)、6月20日(木)、7月25日(木)、8月22日(木)

(3) (公社) 全国経理教育協会主催 社会人常識マナー検定 9月28日(土)

(4) (一財) 職業教育・キャリア教育財団主催 情報活用検定・ビジネス能力検定 CBT

10月24日(木)、11月28日(木)、12月19日(木)、1月23日(木)、
2月13日(木)

9. 台湾 海外研修修学旅行

全体テーマ：学生たちが卒業後、社会の一員となったとき、2025年問題や2030年問題、DX化、異常気象といった様々な課題に直面する中、SDGsとの関連を理解することが極めて重要となる。

この研修を通じて、各自が専門的に身につけたスキルを活かし、「問題解決の具体策」「持続可能な世界を築くための方策」「将来的に自分がどのように目標達成に貢献できるか」について、異文化交流(台湾)を通じて考える機会とする。

更に、これまで学んできた専門分野にとどまらず、他分野にも視野を広げ、生成系AIが急速に普及する現代社会において、一層求められる多様性を理解し、文化や価値観の違いを体得することで、広い視野から「問題解決の手段」を導き出せる力を養う。

今回の研修修学旅行を通じて、学校や学科の枠を超えてノウハウを共有し、仲間との絆を深め、未来への道を切り開くための貴重な機会とする。

期間：12月16日(月)～12月19日(木)

研修(1) 現地大学を訪問しての交流 台北城市科技大学デジタルマルチメディア学科

研修(2) i-Ride (3DCG+モーションプラットフォームによる体験型エンタテインメント)

研修(3) 本学学生の各グループに現地学生1名が参加してのフィールドスタディー

研修(4) 伝統的文化研修 十份(天燈上げ体験)、九份訪問、夜市探索

コロナ禍が落ち着き、今年度、ようやく海外への研修修学旅行を実施することができた。

SDGsをメインテーマとして、各所で研修・フィールドスタディーを実施。半導体産業等、最先端技術の現況を、現地学生たちとの交流を通して習得。加えて、台湾の古き良き伝統にも触れることで、視野を大きく広め、国際社会で活躍できる人材となるべく、研修内容を策定。学内での事前研修・グループ毎のフィールドスタディー(研修のテーマ、研修コー

ス設定、研修目的)、研修修学旅行の実施、事後の成果発表会での情報共有を行うことができ、学生たちは掛け替えのない学びと経験をすることができた。

1 0．文部科学省委託事業

全国の専門学校と産業界、学識経験者のグループによる様々な事業が文部科学省の委託により推進されており、下記事業に本学もメンバーとして参画している。企業からも最新の情報が得られ、教員間でもその情報を共有。学生の教育の場に活かしている。また毎年度、実証講座を学生たちが受講し、貴重な学びができています。

本学担当：有賀、中村健太郎

(1) 令和6年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

IT分野DX人材養成のモデルプログラム開発と実証事業

事業主体：(一社) 全国専門学校情報教育協会

(2) 令和6年度「専修学校における先端技術利活用実証研究」

「最先端技術を活用したIT人材育成・専門学校の基盤開発事業」

センシングやAI等の最先端技術による安全安心インフラのDX化を推進する

人材の育成プログラム

事業主体：(一社) 安全安心社会構築教育協会

第2回実施委員会 12月4日(水) 16:30~18:00 (リモートによる会議)

第3回実施委員会 2月18日(火) 15:00~16:00 (リモートによる会議)

・2月13日(水)、ITゲーム&ロボットシステム学科ロボットシステム研究1年生6名を対象に、実証講座を開講。防災・減災のためのドローン活用について、東京よりCONTROL-UAS FIGHT社の代表、黒澤 利光氏が来校。事業で開発したテキストを用いてドローンの技術面と静岡県での災害について、講義とグループワーク、成果発表を実施。またドローン実機による操縦体験実習も行うことができた。

1 1．教員による産学連携活動等

(1) 静岡情報産業協会 産学官連携事業

地元企業及び地方自治体等との連携・情報交換を推進するため、また協会・高等学校・本学が連携した高校生向け出前講座も実施している。

・人材育成・教育研修部会 有賀 浩

・人材開拓推進部会 中村 健太郎

(2) 株式会社システムソフィア マイクロマウス研究会への参画

卒業生が多数活躍している株式会社システムソフィアの社員がグループで活動しているマイクロマウス研究会に継続参加。技術面だけでなく、組込み業界の動向や仕事の魅力について情報収集の場とする。

1 2. 高等学校等との連携

(1) 第一学院高等学校 静岡キャンパス

本学での進路研究・体験授業 9月11日(水) 高校生たちが今後の進路について研究するため、その一環として本学を訪問。Society 5.0を中心にIT、映像・音響、福祉、子ども、視能訓練士と、幅広く職業の特色について学んだあと、ITゲーム系、音響系、福祉系、視能訓練士の4分野に分かれて体験授業を実施。生徒たちは皆熱心に受講し、有意義な時間とすることができた。

1 3. 教員研修等

(1) 教学 Web セミナー2024 初夏 主催 (株)進研アド 6月25日(火)

最新データから見る専門学校志望層の傾向、中退防止に向けた入学前からの学力向上令和6年度県介護保険課、県介護福祉士会、介護福祉士養成施設との意見交換会

(2) (公社) 静岡県職業教育振興会 新任教員研修

8月1日(木)、2日(金)、5日(月)～9日(金)

(3) 中部七県ブロック協議会第68回定期(福井)大会 8月28日(水)

於 コートヤード・バイ・マリオット福井

中村徹理事長・校長(振興会 監事)、有賀(振興会 理事)が出席

・開会式

・本会議 令和5年度事業報告、大会スローガン説明、事業説明(文部科学省専修学校教育振興室長、全国専修学校各種学校総連合会参与)

・記念講演 福井県立恐竜博物館 館長 谷川 由美子 氏

・閉会式

(4) オンラインセミナー「教育」に投資するブランド型広報への変革

9月25日(水) (株)応用社会心理学研究所 主催

(5) 静岡県職業教育振興会と静岡県高校進路指導協議会との情報交換会

12月9日(月)

於 専門学校 富士リハビリテーション大学校(富士市伝法)

今年度は高等学校教諭との情報交換会に中部地区IT系専門学校の代表として参加した。

(6) オンラインセミナー「未来の専修学校をつくる」

～教員研修と卒業生調査のヒント～ 2月18日(火)

文部科学省・(株)三菱総合研究所 共催

1 4. 令和6年度 終業式・卒業証書授与式

令和7年3月15日(土) しずぎんホール ユーフォニアにて挙行。

本学で2年間、3年間の所定の職業実践専門課程を学び終え、大きく成長した卒業生たちは、堂々と胸をはって式典に臨み、社会へ旅立って行った。卒業記念品として、ネットワーク機器、大型電子黒板を本学に贈呈した。

また在校生たちは、この1年間を振り返り、やり遂げた成果と次への課題を明確にし、来年度へ向けて気持ちを新たにした。

以 上